

あれから十二年……

木下 健太郎

あの阪神淡路大震災から十二年、神戸は地震から十二年になつて活気ある町になりました。たけどまだ心のきずはあると思います。

今日ぼくは地震を体験をしたお姉さんの話を聞いて地震で電気や水などのものがなかつてぼくは水や電気とかがないのは考えられな
いしぼくは多分生きていけないと思うし神戸が戦争のあととみたになつてるなんて考えられ
れません。

地震でいろいろな助け合いがあつたそうです。ボランティアの人たちや世界中の人々に神戸は助けられました。世界中の人たちからいろいろな物が送られてボランティアの人たちもすごいお金の人がきてくれてち
とだけ安心したと思います。

自分のいまのくらしはいろいろなものがそろつていて便利な神戸になつたけど十二年前はぼろぼろな町だつて震災のときに生まれな

くてもかったと思われました。

ほくは震災の話を聞いて人と人との助け合
いがあったから神戸は活気あふれる町になっ
た人だと思っています。

ほくはまだ生まれてなかつたけどいろいろ
な話を聞いて地震はともすばいものとおか
つたし近い将来くる大きな地震がきても大じ
ょうのないようにしたいと思います。

神戸は地震でメチャクチャになつたけど人
々の助け合いで今の神戸ができましたと思う。